

事業報告

第11期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）

1 調理師を志す調理師試験受験生への支援事業

(1) 調理師教本頒布数 2, 051部

調理師試験問題集頒布数 1, 231部

調理師教本並びに調理師試験問題集の大幅に改定した新訂版を作成し、作成後も各専門分野の有識者にチェックを依頼し、より正確でわかりやすいテキストの完成に取り組んだ。前年度に引き続き各方面への両書の広報に取り組んだ。

(2) 「通信教育」及び「模擬試験」

新たなカリキュラムの編成等について調査研究を行い、新訂版に準拠するインターネットによる通信教育（eラーニング）事業を行った。受講者が伸びない為、各方面と改善策の検討を行った。

受講者 1名

2 各種研修事業の実施

(1) 調理師健康教育事業：静岡県（2会場） . . . 修了者 109名
愛知県（4会場） . . . 修了者 143名
合 計 252名

(2) 熟練者講習事業：岩手県 修了者 12名
石川県 修了者 10名
長野県 修了者 7名
合 計 29名

(3) 日本食育指導員制度

日本食育指導員講師認定講座

本制度の具体的な推進の前段として、各地方において開催する認定講座の講師を養成する、日本食育指導員講師認定講座を開催した。 修了者 4名

3 調理師就業届出の周知徹底事業

今年度は2年に一回の就業届出年のため、広報用ポスター頒布 . . . 507枚（7県）
その他、ホームページ等で周知徹底に努めた。

4 広報活動事業

(1) インターネット等を活用し、各会員・賛助会員とその他各方面と情報交換を行った。

(2) web サイトにより各種関連情報を広く一般に提供した。

(3) 日調ホームページを活用し、随時最新の情報を、各都道府県調理師会を通じ各会員への情報提供を行った。

5 食育関連事業

食育推進事業として、「第13回 全国こどものための愛情弁当コンテスト」を実施し、広く「食育」を啓発するとともに、「早寝早起き朝ごはん」全国協議会等の他団体と連携し、子供たちの基本的な生活習慣を育成する普及活動に協力した。

(実施内容 結果)

事業名： 第13回 全国こどものための愛情弁当コンテスト

目的： 食育事業の一環として育ち盛りの子供たちに食べさせてあげたい各都道府県の地産品を使ったお弁当コンテストを開催し、お弁当を作る保護者などに対し、これを機会に各地の地産品やバランスのとれたお弁当作りに興味を持たせ、食を通じ親子の心のふれあいを図り愛情を深めるとともに食に対する国民の意識の啓発に寄与することを目的とする。

参加要領： 調理師免許を持ち調理業務に就業する者を除く国民が、参加資格を持つ。

子供向けのお弁当を原価 350 円以内で、毎日無理なく作れるもの・地産品を入れる・弁当箱は普段使っているものを使用・見て楽しく、食べて元気になれる弁当であること。参加者は各地の調理関係団体を通じて書類を提出し予選に参加し、選ばれた作品の中から本会が本選を行い優秀作品を決定して表彰する。

審査開催日程：各都道府県予選 令和5年1月31日

本会本選 令和5年2月28日

全国予選応募作品数： 1,364 作品

本選推薦作品数： 55 作品

農林水産大臣賞： 1 作品

文部科学大臣賞： 1 作品

国民の健康と食の安全を考える会 最優秀賞： 1 作品

(公社) 日本調理師会 最優秀賞： 1 作品

(公社) 日本調理師会 優秀賞： 10 作品

(公社) 日本調理師会 優良賞： 41 作品

6 健康増進啓発事業

(1) 受動喫煙防止策

web サイト等を媒体として積極的に分煙活動を推進するとともに、より良い環境づくりを目指し他団体と連携し、分煙の徹底について啓発を行った。

(2)「国民の健康と食の安全を考える会」

愛情弁当コンテストの表彰、後援等により支援を受けた。

7 給食施設（病院・学校）等に調理師を配置する制度の推進

調理師業界他団体と連携を密にし、調理師業界として特に給食施設（病院・学校）等に調理師を配置すべく推進するとともに、業界が抱えている共通の問題点等の解決並びに調理師制度の改善及び調理師の資質の向上を図るとともに、国民の食の安全・安心を確保するため、素案作成のため検討を行い、各方面への相談を行った。具体的な進展は見られなかった。

8 表彰事業の実施

(1) 会長表彰	: 令和4年 6月		37名
(2) 永年功労表彰等	: 令和4年 6月		20名
(3) 調理技術奨励賞	: 令和4年 5月	金賞（長野県）	1名
		金賞（岐阜県）	1名
		銀賞（長野県）	1名
		銀賞（岐阜県）	1名
		銅賞（長野県）	1名

9 表彰等推薦事業の実施

(1) 叙勲・褒章	: 令和4年 4月29日	3名
(2) 厚生労働大臣表彰	: 令和4年11月28日	23名

10 組織の拡充強化の促進

事業企画委員会を開催し、公益認定事業の内容をあらためて確認し、より公益に寄与するための企画を引き続き行っている。

全国地産地消推進協議会に参加し、地産地消に関する情報発信・普及啓発、ノウハウの提供や情報交換を行うこととした。

11 各都道府県調理師会等事業、会議等に対する支援事業の実施

各都道府県調理師会等の総会、コンクール、記念事業等に対し、祝電、会長賞等の授与等を行った。また、各地方の記念事業への出席要請により参加して意見交換、指導等の支援を行った。16件

12 協力団体等に対する支援事業の実施

本会の事業推進に協力する諸団体等の総会、コンクール、記念事業等に対する協賛、協

力、後援、祝電、会長賞等の授与等による支援を行った。コロナの影響で大会中止の連絡が多かった。12件

13 正・賛助会員の入会促進

正会員として前年度より2会員が退会した。賛助会員も2企業が退会した。入会希望の企業があり、次年度より、正会員1団体、賛助会員1社が入会予定。

14 会議等の開催

(1) 通常総会 2022年 6月28日 (火) 崎陽軒 本店 会議室

(2) 理事会

第一回	2022年	5月11日 (水)	神奈川県畜産センター2F 会議室
第二回	2022年	6月28日 (火)	崎陽軒 本店 会議室
第三回	2022年	9月14日 (水)	神奈川県畜産センター2F 会議室
第四回	2023年	2月 8日 (水)	神奈川県畜産センター2F 会議室

(3) 正副会長会議

	2022年	5月11日 (水)	神奈川県畜産センター2F 会議室
	2022年	9月14日 (水)	神奈川県畜産センター2F 会議室
	2022年	9月14日 (水)	神奈川県畜産センター2F 会議室

(4) 委員会

・総合事業企画委員会

2022年10月24日 (月) 神奈川県畜産センター2F 会議室

(5) 中間監査

2022年11月14日 (月) 日本調理師会事務局